

2024年9月29日（日）第二礼拝「霊の分別」Ⅱテモテ1章7節

神様が私たちに与えてくださったものは、おくびょうの霊ではなく、力と愛と慎みの霊です。私たちは常に神様が与えてくださったものかどうかを分別していかなければいけません。

第一番目、おくびょうの霊は悪魔から来るものです。最初の人アダムが罪を犯した時、神様を恐れて隠れました。罪の結果、神様から離れて生じたものは、悪魔が与える「おくびょう」でした。この「おくびょう」は霊です。今も悪魔は私たちにあらゆる事柄（離婚、職場の問題、失業、過去の傷、トラウマ、病気、貧困、事故、死別、先祖の祟りなど）を通して、このおくびょうの霊を送り、恐れをもたらしめます。聖書には、恐れには刑罰が伴うと書かれています（Iヨハネ 4：18）。霊の世界は見せませんが、私たちが恐れを抱いて信じ込むなら、その信じた通りになってしまうのです。「信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものです。」（ヘブル 11：1）

ヨブは、「私の最も恐れたものが、私を襲い、私のおびえたものが、私の身にふりかかった…」と言いました（ヨブ 3：25）。子ども達の急逝、財産の紛失、罹患、配偶者との離別…このような恐れからヨブはいけにえを捧げていました。悲しいことにその恐れが現実のものとなってしまいました。ここから私たちの心が恐れから守られる必要があると分かります。「力の限り、心を見張って、あなたの心を見守れ。いのちの泉はこれからわく。」（箴言 4：23）人間的な解決手段では自分の心を見守ることはできません。薬の服用や心理学的アプローチは一時的なものだからです。根本の解決には、神様の「力と愛と慎みの霊」が必要です。

第二番目、「愛には恐れがありません。全き愛は恐れを締め出します。」（Iヨハネ 4：18）神様は人をちりで形造り、神様の息をその中に入れてくださいました。神様の息を吹き入れられた私たちは、その愛を受けて神様を愛するのです。神様の愛の中にとどまる時、恐れは消えていき、神様の約束されたもの、乳と蜜の流れる地を相続することができます。神様は良い神様です。悪魔からの先祖の祟りを信じるのではなく、私たちはアブラハムの祝福を受け継ぐ者ですから恐れることはありません。

第三番目、神様が与えてくださった「力」は、私たちに喜びを与えます。私たちは虫のように小さく、弱く、無防備ですが、私たちのすべての罪を贖われた主ご自身が、私たちの罪と弱さを引き受けてくださり、代わりに神様の力ときよさが私たちを通して表れるようになりました。「恐れるな、虫けらのヤコブ、…わたしはあなたを鋭い、新しいもろ刃の脱穀機とする。あなたは山々を踏みつけて粉々に砕く。丘をもみがらのようにする。…あなたは主によって喜び、イスラエルの聖なる者によって誇る。」（イザヤ 41：14～16）

第四番目、「慎みの霊」です。慎みの霊は自制の霊（セルフコントロール）です。テレビやゲーム等、はまり過ぎないようにブレーキをかけ（自制）、抜け出させ、立ち上がる力を与えてくださいます。神様と被造物との関係、またその秩序を乱さないように、自制心を培い、守ってくださいます。そこには御霊の実である愛と喜びと平安が溢れます。アーメン！